

芦安ファンクラブ通信

南アルプス地域の自然を愛するすべての人達に対して、地域の人々との交流を通じた南アルプスの環境保全及び適正利用に関する事業を行い、もって、南アルプス市芦安地域の活性化に寄与する。

～芦安ファンクラブの理念～

特定非営利活動法人芦安ファンクラブ 事務局 南アルプス市芦安芦倉 1578
TEL 090-4135-3193 FAX 055-288-2722 HP <http://ashiyasu.com> メール mail@ashiyasu.com

北岳冬季メインルート大規模整備！ 2024/11/16

～地元山岳関係者の心意気を示す！～

芦安ファンクラブ会長 清水准一

秋の声を聞くころ、「池山の道が荒れているので、小屋の運営が終わったら整備をしたい」こんな声が山小屋の管理人達から届いた。早速10月半ばの下山時に下見をしてもらうことになった。ボウコン沢の頭～池山尾根～あるき沢間は北岳山荘の長田氏、鷲ノ巣山～あるき沢間は吉澤、大矢の両氏が下見をしてくれた。

どちらの区間も倒木が多く、場所によっては迂回を余儀なくされ、積雪によっては道迷いの要因になることが容易に想定された。したがって、冬山シーズン前の整備は必須であった。しかし、区間が長いことに加え、広河原に近い県道の小滝～樽沢間が土砂崩落の為に通行止めになっていて、広河原から車であるき沢まで入れないことも整備の難易度を上げてくれた。身延の土木事務所で開運隧道ゲートの鍵を借りあるき沢から池山小屋間の整備班は奈良田から入ってもらうことにした。

多くの労力が必要なことと、作業がきついことを説明したうえで、大久保基金の会、山岳連盟、南アルプス警察署へも協力を仰いだ。当日は当会及び大久保基金の会の精鋭吉澤、長田、千葉、中島、蛸原、三浦（泰）、大矢、古中、望月（泰）、それに山梨県山岳連盟から望月（啓）、森本、石澤、三浦（洋）そして南アルプス署から岩井、佐野の総勢15名の参加者になった。

鷲ノ巣からの1班3名は明るくなってから清水が送って行ったが、それ以外のあるき沢からの2班、3班、4班の整備隊は午前4時半にAFC事務所集合という強行軍で出かけ、途中の道の駅で岳連参加者をピックアップし現場に向かった。

各班にはそれぞれに林業作業熟練者がいて、太い倒木もなんのそのといった感じで処理してくれた。頼もしくありがたい！



1班は所々ロープを張ってルートを示し、土砂を取り除いて歩きやすい道にしてくれた。2班はあるき沢登り口の崩壊地の整備をしてくれた。これで登山者も安心してこの道に踏み込める事だろう。3班、4班は途中の崩壊箇所の幅員確保やルート指示のマーキングテープの取付けを実施し、ルートの明確化に努めてくれた。大勢の参加者の懸命な作業により、池山小屋まで実にいい道になった。特に南アルプス署からの登山道整備への協力は初めてであり、山を愛する警察官の活躍を今後も期待したいところです。

この道は昭和30年半ば頃、当時池山小屋の管理をしていた芦安村大曾利の住人清水義盛が、夜叉神隧道から道が開いたことによる、最短ルートとして切り開いた。以前は荒川口から一気に急な池山尾根に取り付く尾根通しの道であった。今でも道中に錆びた鋼製の標識も残っている。この道はあるき沢コースとして北岳への冬季の安全なルートとして多くのエキスパートに利用されて今日に至っている。今でも「義盛新道」と呼んでいるレジェンドは多い。今後も定期的な整備を実施することによって永く安全にこの道が利用されていくことを望みたい。

尚、今回の事業経費は大久保基金の会と芦安ファンクラブで負担させていただきました。皆さんありがとうございました。



2024 年度広河原モニターツアー 2024/10/18

芦安ファンクラブ 堀内 訓

南アルプス市役所 観光施設課（委託先：南アルプスゲートウェイ）が実施主体となり開催されました。実施目的は、来年度以降から県外の学校やグループが広河原で環境教育を行うための現地視察とプログラムの一部を施行し、旅行会社に紹介することにあります。この企画が成功すれば、広河原山荘やインフォメーションセンター、それからファンクラブでも何年も前から整備をしたり、マップも作成したりした広河原園地を広く皆さんに知っていただくことにつながるようになります。

旅行会社は3社、いずれも大手の企業で、学校の修学旅行や林間学校などで体験学習をプログラム化して行っているエキスパートばかりでした。対してこちらは、南アルプス山岳地域を知り尽くしている清水准一 AFC 会長を筆頭に、環境省南アルプス保護管理企画官藤田和也氏、そして AFC から、西村と堀内が今まで積み上げてきた実績をいかんともなく披露することになりました。

行程に沿って、案内の様子を紹介いたします。皆様も南アルプス林道や広河原の歴史を堪能してください。まずは、御野立所で全員が合流しました。さあ、案内開始です。バスやタクシーではなかなか停車してくれない場所ですが、ここから北岳と間ノ岳が顔を見せてくれます。また、北岳のコルには北岳山荘も観ることができます。かつて林業が盛んな頃には林道の上部の深沢から材木を積んだトロッコ軌道がありました。山際をノミと金づちで手彫りした軌道を伝い、奈良田まで材木を運んだそうです。御野立所の手前にはトンネルが残っており、当時を彷彿させてくれます。トンネルの近くの崖には糸魚川・静岡構造線が走っており南アルプス林道の工事



の難関さを実感できます。なぜ御野立所というかは、昭和天皇が地面をお歩きになったということに由来します。

さあ、今度はインフォメーションセンターに入りましょう。丸テーブルを囲んで、何やら観ていますね。山で採れた材木を川の水を利用して流す「テッポウ」「シュラ」の DVD です。そして次には、清水会長手造りの精密な模型での材木の川流しです。DVD を観た後の模型での再現で、参加者全員が納得していました。江戸城の修復に巨木を献上すること

を命じられた甲府勤番は中村儀助という腕のいい木こりの棟梁にその役を託しました。儀介は、それはそれは太い立派な巨木を伐採しました。しかし、伐採した材木を守るために我が子と留まった冬に、大樺沢で雪崩に巻き込まれて亡くなってしまったのです。

園地に行きましょう。園地は誰しものが感動を受ける場所になるでしょう。園地の樹木の成り立ちの説明を受けるとその奥深さを味わうことになります。カツラの木の葉が紅葉しており、葉をコップに入れて匂いを嗅ぐ体験やネイチャーゲームの紹介、山の神や川の始まりなど、充実した時間を過ごしました。最後に、広河原山荘では、シカ肉のジビエカレーに舌鼓を打ちました。

いかがでしたか。今回のツアーは、堪能していただけたでしょうか。このようなツアーが催行できる日が来ることを心待ちにしています。



芦安ファンクラブ研修旅行報告 2025/3/15-16

～伊豆半島 堂ヶ島～

芦安ファンクラブ 西村 正人

昨年の静岡県（浜石岳・由比・宇津ノ谷・丸子宿）に引き続き、今年の研修旅行は伊豆半島でした。

参加者17名、芦安を7:30に出発。大型バスでゆったりと中部横断道から新東名、伊豆縦貫道を経て堂ヶ島へ。先ずサンセットプラザ堂ヶ島で昼食をとり、メインイベントのジオガイドツアーに入りました。



堂ヶ島の「稗三升島」「蛇島」「亀岩」



西伊豆観光協会のガイドさんの案内でスタート



波の浸食が激しい。



磁鉄鉱の粒子に磁石がくっついた。



「天窓洞」大きな穴。



波の浸食で穴が開いた。



ハートに見えたら…。



「白岩山岩壁窟画」室町中期の作



「沢田公園」複雑な地層が当時の激しい海底の動きを教えてくれて面白い。

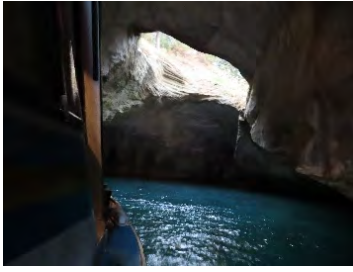




ジオガイドツアー、楽しく勉強しました。ありがとうございました。



ジオガイドツアーの後、堂ヶ島遊覧船で海から洞窟めぐりをしました。



そして、1日目の宿は堂ヶ島温泉の「海辺のかくれ宿 清流」。美味しい魚料理で盛り上がりました。



皆さん、
飲んでますよ～

2日目は、朝から天気予報通りしっかりと雨。大室山に登る計画を変更し、下田の道の駅から伊豆高原の「象牙と石の彫刻美術館 ジュエルピア」で微細な彫刻を鑑賞しました。



どうやって彫ったんだろ???

その後、伊豆高原道の駅で釜めしを堪能し、沼津の「みなと新鮮館」でお土産を買い込み、帰路へ。伊豆市、堂ヶ島や伊東の河津桜はきれいな満開、下田は葉桜で、すっかり春を堪能する旅でした。芦安の積雪を心配しながらも、バスの中で研修旅行の成果発表会。ジオガイドさんの日頃の勉強や、質問形式で興味を引き出したり、分かりやすい図解説明など、私達の活動に生かせるヒントをたくさん頂いたように感じました。幹事の中島さんと千葉さんの丁寧な事前調査と綿密な企画によって、素晴らしい研修旅行となりました。心から感謝です、ありがとうございました。



山小屋レポート①～北岳山荘～

芦安ファンクラブ 長田佳久

芦安ファンクラブで北岳山荘に携わってから早4年となりました。

入山して毎年感じる積雪量の少なさ。たった10年で気候変動の影響を大きく感じます。ここ数年北岳山荘の正面玄関は掘り出しもせず入山翌日に開いています。

そして積雪量は山の環境にも大きな影響を与えていました。

毎年行っているキタダケソウのパトロールですが、2024年には鹿による食害が一気に顕在化し、夏には花茎を食いちぎられたキタダケソウの食痕が目立つようになってしまいました。消雪時期が早くなり開山前の人がない時期にトラバース道に

鹿が上がって来やすくなってしまったのではないかと思います。コロナ禍で休業した翌年にも感じましたが、人の往来が与える影響は道そのものだけではないのですね。

2025年には環境省の鹿柵設置事業も始まりませんが、北岳山荘でも出来ることは積極的に行ってまいります。

また、2025年度から北岳山荘の体制が一部業務委託から指定管理事業となります。

南アルプスゲートウェイ・AFC事務局の皆様のお力を借りながら現場をより良いところにしていけたらと思います。

皆様どうぞよろしくお願いいたします。



山小屋レポート②～白根御池小屋～

芦安ファンクラブ 吉澤齊大

令和6年度の営業は、例年と比べて変化を感じる事がいくつかありました。

まず外国人の利用者・通過者がとても多かった事。食事の希望内容もベジタリアンだったり五葷がNGだったりとリクエストが多く、それに応える対応をしてきました。この数年ほとんどの山域の山小屋では、利用が予約制になってきていて日本人の登山者の間で周知はされてきています。しかし、ツーリストの外国人は予約制を理解しておらず、飛び込みでの利用も多く見受けられました。日本の山小屋の独特なマナーも理解しきれていないのかもしれませんが。このような中で、令和6年度から働いてくれている芦安ファンクラブの大矢さんには、本当に助けられました。高い語学力で、表面的なルールだけではなく、その理由や本質の部分までも伝えてくれ、さらには高いホスピタリティをもって対応をしてくださいました。また、日本人の利用者の方でも、主に食事についてのリクエストを頂くことが多くなりました。

次に、山岳遭難の発生件数が多かったです。山岳事故は不意なタイミングで、誰にでも起こりうる事です。しかしながら、明らかな体力不足や準備不足で起きた事案もありました。

私は、登山は計画を立て準備をする所から始まっていると思っています。例えば、行きたい山は9月だったら最低気温はどのくらいなのか、標高差や水平移動距離はどのくらいなのか、コースタイムは何時間なのか、自分はコースタイムの何割くらいで歩けるから目標の山小屋はここにしよう、直近の天気はどうだろう、など事前に調べて想定がしっかりとできていれば、おのずと余裕のある登山計画になるはずです。北岳は穏やかな山容ですが、標高差があり気象環境がとても厳しい場所です。しっかりと計画を立て、安全な登山を楽しんでもらいたい思い出になってくれるよう僕らは願っています。

令和7年度は、年々変化する登山者からのニーズに合わせて小屋も臨機応変に対応ができる体制を作っていく事、また登山者が自身で問題について考えてもらう、そんな指導をして山の安全に繋がるよう努めていきたいと思います。また、高騰する物資・燃料・食材費、少なくなってきた小屋の働き手など課題もたくさんあります。山小屋は一般的な宿泊施設よりも不便を感じる事が多いかもしれません。山小屋は登山者と小屋が双方で歩み寄り成り立つ事業だと思います。今後の山小屋の在り方について、色々と模索をしながら取り組んでいきたいです。



山小屋レポート③～長衛小屋～

芦安ファンクラブ 千葉茂樹

皆様、いつもお世話になっております。長衛小屋責任者の千葉茂樹です。令和6年度は、令和4・5年度営業の反省を踏まえ、最大6名で小屋の運営を行いました。皆余裕を持って業務にあたる事が出来たかと思われます。

令和6年度は久方ぶりの梅雨らしい梅雨、夕立ちの多い盛夏、秋にかけては例年以上の台風の到来で、テント泊は令和5年度に比べ約1000人の減少となりましたが、宿泊者は前年とほぼ変わりませんでした。

年末年始営業期間は天候に恵まれた日も多く、例年以上に仙丈、甲斐駒へ登頂出来た登山者も多く嬉しい限りでしたが、テント泊の方1名が下山中に負傷、ヘリで搬送されたのが残念でした。

令和7年度もこれまで以上に登山者の安全に留意し、小屋、テントで少しでも快適に過ごしていただけるよう努力していきたいと考えています。

AFC会員の皆様のお力添えが必要となることもあるかと思いますので、今後とも宜しくお願い致します。



9月、シルバーウィークのテント場



栗沢山登山道整備



年末年始営業は北岳山荘の長田さん、中島さんと

輪かんじきづくり

芦安中学校 教頭 深澤和博

芦安中学校では、自然体験学習の一環として、毎年2学期（10月～11月）に、芦安ファンクラブのご支援をいただきながら、芦安地区伝統の「輪かんじき」づくりに取り組んでいます。以前は、全校生徒が3年生への卒業記念品として製作していたようですが、生徒数の減少により、ここ数年は、3年生が「卒業製作」として製作しています。

① 材料（かんじきに適した枝）の確保から始めます！（学校林整備）

芦安小中学校PTAで借用している学校林に行き、枝打ちや間伐の作業を体験しました。

林業に携わっている方から、間伐についての説明を受けた後、みんなで協力して作業ができてよかった。昔は、建築の材料をこうやって、一つ一つ手作業で切り出していたと考えるとすごいと感じた。



② 次の工程は、「枝の皮むき」と「枝の曲げ」です！

熱湯を沸かしたドラム缶の中に、切り出してきた枝を投入。数時間煮た枝を取り出してから作業に入ります。

煮た枝はとてもよい香りがして驚いた。皮をむく作業は気持ちよかったが、枝を曲げるのはかなりの力が必要で疲れた。曲げるときの加減などで、仕上がりが変わっていくのを感じた。



③ そして、曲げた枝を組み合わせて、かんじきにします！

芦安ファンクラブの方に、曲げた枝の中から生徒の足のサイズに適した枝を選んでいただき、針金やロープでかんじきにしました。

自分がいつも結んでいるひもの結び方とは全く違った方法を教えてもらい、おもしろかった。同時に、よく考えられた方法だと感じ、もっと知りたいと思った。作業を進める中で、コツをつかめたのでよかった。



④ 亜麻仁油を塗って、完成です！

最後に、組み合わせたかんじきに亜麻仁油を塗ります。つやつや感が出て、撥水性や耐久性も高まります。

亜麻仁油を塗り、だいぶ印象が変わり、使ってみたいと思った。丁寧な作業を心がけることができてよかった。



芦安の名所紹介「県営林道南アルプス線」

芦安ファンクラブ 堀内 訓

昭和27年天野久氏が2代目山梨県知事に就任し、「富める山梨」を目指して林業と観光振興を目的に南アルプス林道が着工されました。急峻の地形と糸魚川～静岡構造線の脆弱な地盤に悩まされ自然保護と開発の狭間に揺れながら関係者の並々ならぬ努力により、昭和37年芦安地区桃ノ木温泉付近から広河原までの南アルプス林道が完成しました(夜叉神トンネルは延長1,148m)。この林道の開通によって、本来の目的である林業が振興されると同時に、奥深い南アルプスへのアプローチが一挙に短縮されました。南アルプスは「遙かな山から身近な山」としてたくさんの登山者が訪れるようになりました。そして、広く日本国民に自然の恵みを与え続けています。林業が衰退した今日、林道は南アルプス登山のため、あるいは観光道路としてその存在価値を示しています。今回はもう少し踏み込んで南アルプス林道の歴史をみてみましょう。

昭和27年、住宅資材として木材需要が逼迫する中、早川上流の野呂川流域の森林開発(森林の伐採)を目的に、約10億6000万円をかけて野呂川林道の建設が始まりました。昭和32年には昭和天皇皇后両陛下が現在の御野立所で工事の視察もされています。野呂川林道は、昭和37年に開通。森林資源の開発はもとより、山間奥地の交通の便は格段に向上することになりました。中でも林道が日本第二の高峰である北岳への登山ルートとして、「北岳は身近な山」となりました。また、南アルプス登山の玄関口は韮崎から芦安に移っていくことになりました。登山者に重宝されたことがきっかけで、地元振興(観光)を目的に加えたスーパー林道構想が浮上。昭和41年から森林開発公団の手により、既存の林道を組み込みながら、山梨・長野両県を結ぶ南アルプススーパー林道としての建設が始まりました。しかし昭和39年には南アルプスが国立公園に指定されていたこと、その急峻な地形をゆく山岳道路は自然破壊の象徴として目されるようになり、様々な団体による建設反対運動が勃興。社会的なうねりとなり昭和48年には、環境庁長官が工事凍結を表明するに至り

ましたが、昭和53年に道路幅員の縮小、一部路線の変更、土砂崩壊の防止等の留意事項を条件に、一転して建設が再開しました。

昭和54年11月12日には山梨県側で完成式典が開かれ全通しました。(実質的に供用開始した昭和55年を開通年とすることもある)林道は開通後、管理者となる山梨県と長野県長谷村に移管され改名、南アルプススーパー林道の呼称は消滅しました。現在は、山梨県側は野呂川林道を含めて「山梨県営林道 南アルプス線」、長野県側は「伊那市営 林道南アルプス線」と改められています。

工事は、大変危険を伴うものでした。南アルプス林道の鷲ノ住山バス停留所には工事で亡くなった方々の慰霊碑もあります。全国至る所から働きに来て亡くなった人がいることを知る事ができます。中には、十代の青年の名前もあります。今度おいでの時には立ち寄ってください。



ダイナマイト等を持ち
工事に向かう人々

台風により林道が崩壊

2019年10月の台風19号により、南アルプスは大雨に襲われ、林道は山梨県、長野県側双方で大規模な崩壊や土石流によりズタズタになりました。そのうち長野県側は2020年に復旧しましたが、山梨県側は未だ復旧していません。広河原から約2kmの三好沢手前の斜面が最も大規模な崩壊となっています。この斜面は幅約200mに渡って大規模に崩壊しており、道路は跡形もなくなっています。かつては広河原から北沢峠行きの市営バスに乗り継いで、車窓から甲斐駒ヶ岳を仰ぎ見て、山頂に立つことに心を沸かせたものでした。何時の日かこのような日が来ることを待ち望んでいます。



三好沢付近の崩落現場
奥の白い矢印の箇所には、軽トラックほどの岩が落ちていました。





2025年 登山教室のご案内

南アルプスは、ユネスコエコパークの認定を受け、豊かな自然環境を未来に引き継ぐモデル地域として様々な活動を展開しています。



回数	集合場所	目的地 / コース説明	登山口	難易度 特殊な装備 ガイド	申込期限
日数	開催日/集合時間/参加費		宿泊場所		
第79回	芦安ファンクラブ事務所	新緑の栗沢山へ（6名まで）	北沢峠	初級者向き	6月6日 (金)
2日間 コース	6月14日(土)15日(日) 集合:午前5時45分 30,000円	新緑の美しい森を歩き、初夏の栗沢山登山を楽しみましょう。竹澤長衛さんと長衛小屋の歴史について座学で学びます。	長衛小屋	- 担当 望月	
第80回	芦安ファンクラブ事務所	開山を迎えた残雪の北岳	広河原	中級者向き	6月20日 (金)
3日間 コース	6月28日(土) 29日(日)30日(月) 集合:午前8時30分 48,000円	一日目は白根御池小屋まで登ります。大樺沢大雪渓を登りつめて、残雪の美しい北岳山頂を目指します。キタダケソウやライチョウも観察できるかも！	白根御池小屋 北岳山荘	ビッケル アイゼン (8本爪以上) 担当 岩間	
第81回	芦安ファンクラブ事務所	語り部と歩く北岳(夏編)	広河原	入門者向き	7月18日 (金)
2日間 コース	7月26日(土)27日(日) 集合:午前8時45分 28,000円	白根御池小屋に宿泊し、北岳の歴史文化を語り部ガイドとともに学びながら歩きます。北岳バットレスの雄大な景色にも出会えます。 <u>※北岳山頂へは登りません。</u>	白根御池小屋	- 担当 西村	
第82回	芦安ファンクラブ事務所	夏の仙丈ヶ岳（6名まで）	北沢峠	初級者向き	8月8日 (金)
3日間 コース	8月16日(土) 17日(日)18日(月) 集合:午前9時45分 48,000円	甲斐駒ヶ岳や鋸岳の雄姿を眺め、夏の高山を満喫しましょう。ライチョウにも会えるかも！	長衛小屋	- 担当 望月	
第83回	芦安ファンクラブ事務所	秋の甲斐駒が岳（6名まで）	北沢峠	中級者向き	9月12日 (金)
3日間 コース	9月20日(土) 21日(日)22日(月) 集合:午前9時45分 48,000円	秋の紅葉した甲斐駒ヶ岳の頂きを目指します。長衛小屋では竹澤長衛さんと山小屋の歴史について学びます。	長衛小屋	軽アイゼンまたは チェーンスパイク 担当 岩間	
第84回	芦安ファンクラブ事務所	語り部と歩く北岳(秋編)	広河原	初級者向き	10月10日 (金)
2日間 コース	10月18日(土)19日(日) 集合:午前8時45分 28,000円	白根御池小屋に宿泊し、語り部ガイドと学びながら歩きましょう。雪化粧した北岳やバットレスの雄大な景色にも出会えるかも？ <u>※北岳山頂へは登りません。</u>	白根御池小屋	軽アイゼンまたは チェーンスパイク 担当 富山	

■募集人員はコースによって変動します。最低催行人数3名

■参加経費は、当日受付でお支払いください。参加費には宿泊費・2日目(3日目)昼食代、保険料、乗合タクシー代金、登山後の温泉

■初日の昼食は、各自でご用意ください

■申し込み・問い合わせ先

◆NPO法人芦安ファンクラブ事務局 〒400-0241 山梨県南アルプス市芦安芦倉1578番地

◆Tel 090(4135)3193 ◆Fax 055(288)2722

◆http://ashiyasu.com/ ◆メール mail@ashiyasu.com

■申込方法 所定の申込用紙にご記入の上、FAX又はメールでお申込ください。

※トラブル回避のため電話での申込は受け付けません。※

主催 NPO法人芦安ファンクラブ 後援 南アルプスガイドクラブ

